

2007-2008年度活動報告

材料施工委員会

委員長 榎田佳寛

材料施工委員会の主な役割

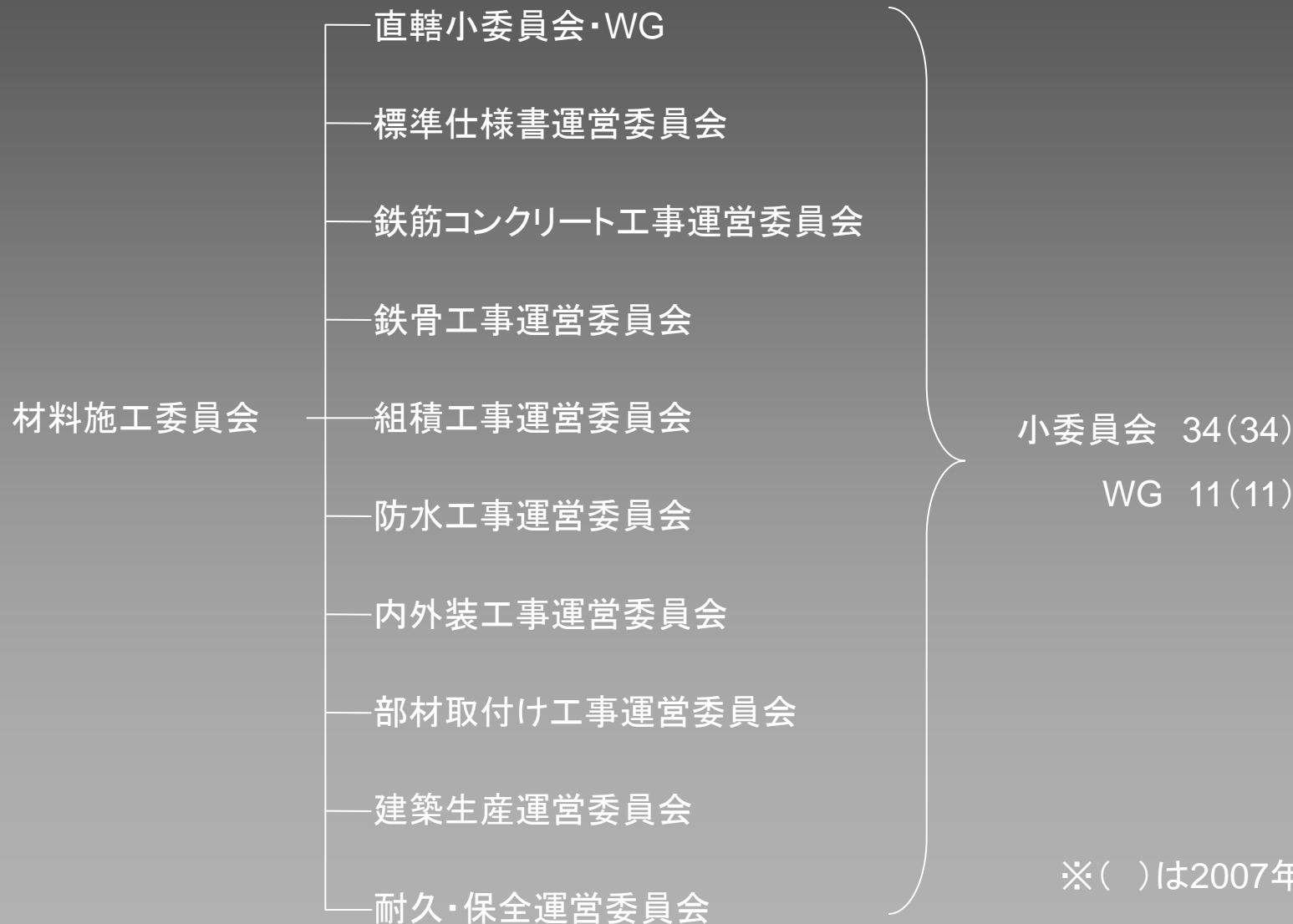
(1) 所掌範囲

コンクリート用材料、モルタル・コンクリートの物性、コンクリート工事の施工管理、特殊仕様のコンクリート、無機系材料・工法・工事、鉄骨製作・鉄骨工事・金属系材料、有機系材料・工法・工事、防水材料・工法・工事、工事・品質管理、仮設・山留工事、土・地業工事、機械・ロボット工法、改修・維持保全、耐久計画・耐久設計、地球環境・資源、部位別材料・仕上げ・性能評価

(2) 役割

- a. 学術：材料施工に係る研究の活性化
- b. 社会：材料・施工に関する最新情報の発信
- c. 教育：学生及び社会人の教育支援

材料施工委員会の組織



※()は2007年度

建築工事標準仕様書・同解説(JASS)の作成

建築工事の標準を示すもので、学会が中心となって建築界をリード
信頼できる解説書、教科書



建築工事標準仕様書

JASS 1	一般共通事項	JASS 14	カーテンウォール工事
JASS 2	仮設工事	JASS 15	左官工事
JASS 3	土工事および山留工事	JASS 16	建具工事
JASS 4	地業および基礎スラブ工事	JASS 17	ガラス工事
JASS 5	鉄筋コンクリート工事	JASS 18	塗装工事
JASS 5N	原子力発電所施設における 鉄筋コンクリート工事	JASS 19	陶磁器質タイル張り工事
JASS 6	鉄骨工事	JASS 20	プラスチック工事(廃刊)
JASS 7	メーソンリー工事	JASS 21	ALCパネル工事
JASS 8	防水工事	JASS 22	雑工事(廃刊)
JASS 9	張り石工事	JASS 23	吹付け工事
JASS 10	プレキャスト鉄筋コンクリート工事	JASS 24	断熱工事
JASS 11	木工事	JASS 25	ユニット類工事(廃刊)
JASS 12	屋根工事	JASS 26	内装工事
JASS 13	金属工事	JASS 27	乾式外壁工事
		JASS 101	電気設備工事一般共通事項
		102	電力設備工事
		103	通信設備工事

材料施工委員会の主要な活動成果 (2007－2008年度)

1.出版

建築工事標準仕様書

建築工事標準仕様書・同解説	JASS 15	左官工事	2007.6
建築工事標準仕様書・同解説	JASS 16	建具工事	2008.2
建築工事標準仕様書・同解説	JASS 8	防水工事	2008.1
建築工事標準仕様書・同解説	JASS 9	張り石工事	2009.1
建築工事標準仕様書・同解説	JASS 5	鉄筋コンクリート工事・同解説	2009.2

施工指針等

ブロック塀施工マニュアル(改定版)			2007.4
エコセメントを使用するコンクリートの調合設計・施工指針(案)・同解説			2007.10
フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・施工指針・同解説			2007.10
構造体コンクリートの品質に関する研究の動向と問題点			2008.2
マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針(案)・同解説			2008.2
鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説			2008.3
外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針・同解説			2008.3
建築物の調査・診断指針(案)・同解説			2008.3
鉄筋コンクリート造建築物の環境配慮環境配慮施工指針(案)・同解説			2008.9

材料施工委員会の主要な活動成果 (2007－2008年度)

2. 講習会開催

	参加者数
2007年	
JASS6鉄骨工事技術指針・鉄骨精度測定指針 改定講習会	146名
JASS15左官工事 改定講習会	199名
JASS16建具工事 改定講習会	80名
JASS8防水工事&外壁接合部の水密設計および施工に関する 技術指針・同解説 改定講習会	333名
建築物の調査・診断指針(案)・同解説改定講習会	215名
環境を配慮したセメントおよび混和材を使用したコンクリート講習会	121名
マスコンクリートの温度ひび割れ指針および構造体コンクリートの 研究に関する講習会	220名
鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説 改定講習会	612名

材料施工委員会の主要な活動成果 (2007－2008年度)

2. 講習会開催

2008年

建築工事標準仕様書・同解説 JASS 9 張り石工事

参加者数

113名

JASS5改定講習会

2203名

鉄骨造建築溶接部の超音波探傷検査規準 改定講習会

130名

材料施工委員会の主要な活動成果 (2007－2008年度)

3. 催し物

	参加者数
2007年	
建築物・部材・材料の耐用年数予測手法に関するシンポジウム	37名
第4回防水シンポジウム	126名
シンポジウム「3次元CADが拓く建築生産の未来像」	78名
第17回建築施工ロボットシンポジウム	55名
2008年	
床の性能評価方法の概要と性能の推奨値(案)シンポジウム	114名
シンポジウム「陶磁器質タイル張り工事の現状と今後の動向」	200名
第6回ワークショップ「最近の計測技術の動向と建築生産の自動化」	49名

材料施工委員会の主要な活動成果 (2007－2008年度)

4. 大会研究集会

2007年

研究協議会「維持保全技術の現状と今後課題」

PD:「コンクリートポンプ工法によるコンクリート工事の諸問題」

2008年

研究協議会「地下工事とコンクリート躯体の防水工事を取り巻く現状と課題」

PD:「環境に配慮した鉄筋コンクリート工事のあり方」

PD:「無線情報技術は建築物・部材の維持管理を高度化できるか!?!」

材料施工委員会のトピックス(1)

1. JASS 5(建築工事標準仕様書 5 鉄筋コンクリート工事)の12年振りの大改定

改定の概要

- (1)適切な工期および工事費の設定
- (2)環境配慮した施工計画
- (3)ブリーフの概念の導入・・・建築主の意向を仕様書に反映
- (4)計画供用期間の級に超長期を追加
- (5)構造体コンクリート強度を現場水中養生供試体の強度からコア供試体の強度へ改定。ただし、強度管理は標準養生供試体
- (6)ヤング係数・乾燥収縮率の規定化
- (7)計画供用期間別に最小かぶり厚さを規定
設計かぶり厚さの規定の改定

材料施工委員会のトピックス(2)

改定の概要(続き)

- (8) 調合管理強度、構造体強度補正值(S値)の導入
- (9) 構造体におけるかぶり厚さの検査を規定
- (10) 特別な仕様のコンクリートの充実
 - 海水の作用を受けるコンクリート
 - 凍結融解作用を受けるコンクリート
- (11) エコセメントを使用するコンクリートの導入
- (12) 再生骨材コンクリートの導入

2. 建築分野への中性子利用技術の応用

[若手奨励]特別研究委員会が発足し、若手研究者の育成を活発に行っている。

材料施工委員会の問題点と課題

1. 出版、講習会等

講習会、シンポジウムの参加者数の減少化傾向
新規分野の研究着手、委員会発足の活性化

2. 委員会

主査、委員の任期の制約(仕様書等作成の障害)
さらなる若手委員の登用

3. 調査研究費

予算の不足、論文発表の喚起
出版・講習会事業の活性化
委員会予算配分の再検討